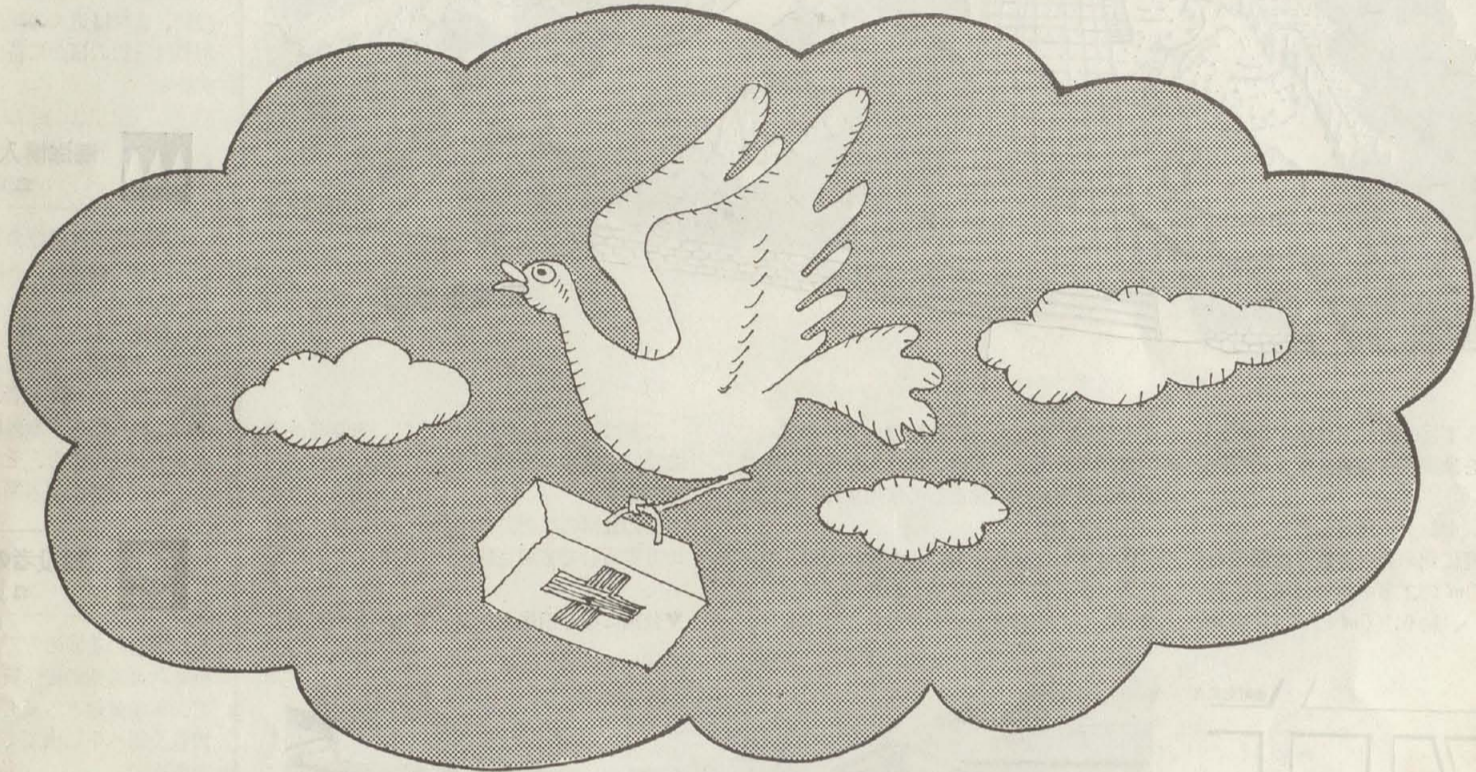


あなたの健康を確かめてください 住民検診 7月22日～・胃の集団検診



“つゆ明け”まであとわずか、本格的な夏の訪れも目前です。

前半は意外と雨が少なく、ま夏を思わせる日々もあった今年の“つゆ”ですが、夏の暑さはまた格別。気候の変化で体調をくずさぬよう注意したいものです。

さて、市ではこの22日から「住民検診」を行います。対象、日程等は次のとおりです。病気の早期発見、早期治療のため、もよりの会場でもれなくお受けください。

また、胃ガン早期発見のための「胃の集団検診」の受診申し込みも受け付けていますので、あわせてご利用ください。

■住民検診を受けましょう

★対象 15歳～64歳の市民

★検診種目 ①胸部レントゲン間接撮影
②血圧測定
③尿検査

※尿はきれいに洗ったビンにいれて持参のこと。ただし、牛乳ビン、クリーム
のビンは不可。

★料金 無料

■胃の集団検診、申込受付中

★対象 30歳以上の市民

★ところ 八尾保健所

★料金 1人400円

★申し込み 衛生課、各出張所に備え付けの用紙に必要事項を記入、同課まで。町会等団体(50～60名)で申し込まれる場合は、直接衛生課まで。

※受付中の検診は7月以降実施分です。

住民検診日程表

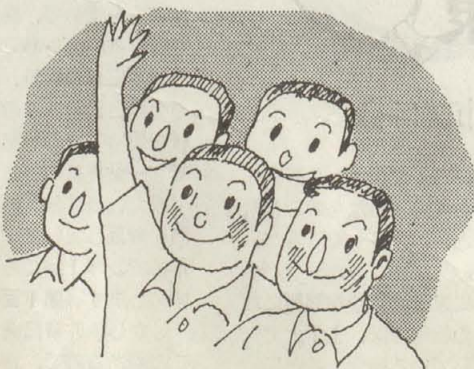
実施日	実施会場および時間	
	午前9時45分～11時45分	午後1時30分～3時30分
7月22日(火)	三野郷農協	山本小
24日(木)	南山本小	東山本小
25日(金)	白鳩幼	久宝寺小
28日(月)	八尾中	用和小
29日(火)	北高安小	山畑公民館
30日(水)	南高安小	曙川小
31日(木)	竹濶小	志紀文化センター
8月1日(金)	竜華小	別宮団地集会所
4日(月)	大正小	大正中
5日(火)	安中小	永畑小
8日(金)	刑部小	八尾小

◎住民検診、胃の集団検診に関するお問い合わせは、衛生課(☎91-3881 内線360)まで。

防ごう青少年の非行化 「社会を明るくする運動」 展開中

力を合わせ犯罪のない明るい社会を築こうとする「社会を明るくする運動」が、今月いっぱい全国的に展開されます。

近年、社会、経済の急激な変動により社会的連帯感が薄れつつあるといわれています。

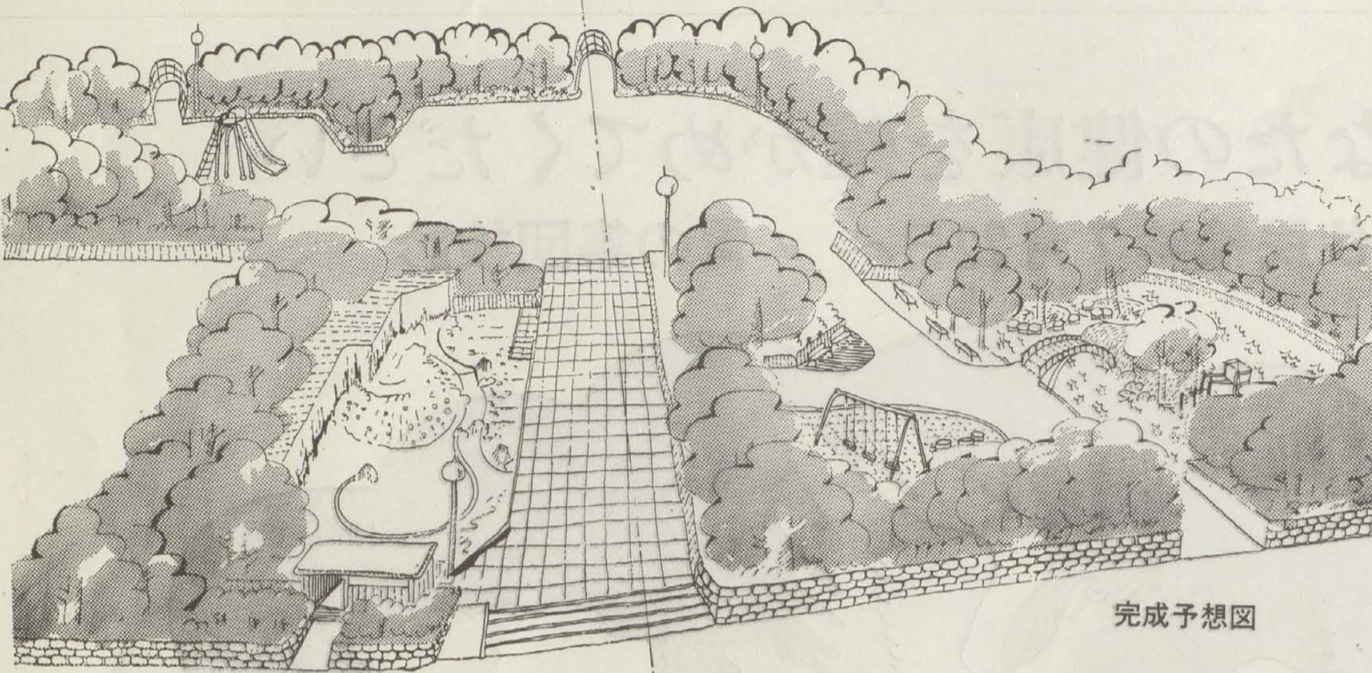


そのなかで、青少年の非行は低年齢化するとともに、件数も増加のきざしをみせ始めています。

そこで、25回目をむかえた今年も、次代になう青少年の非行を防止し、その健全な育成をはかり、「地域住民の連帯による非行防止」を重点目標に、市内各駅頭での啓蒙宣伝、各家庭へのステッカー配布など各種行事を行います。

みなさんのご協力をお願いいたします。

●府民センター跡に児童公園 ＝50年度に北半分が完成します＝



完成予想図

市では、本町3丁目の中河内府民センター跡地に児童公園を設置する計画をすすめています。

計画では、府民センター跡地のうち、とりあえず昭和50年度に北半分(完成予想図の右部分)の約2,500㎡の工事を行い、将来は南半分の工事を行い、約5,200㎡の(仮称)

本町公園をつくることになっています。南側半分については、市庁舎が手狭なため当面、市役所の別館として使用することになっています。

50年度に工事が行われる北側半分は、植え込みで囲まれ、自由広場や、砂場、スベリ台ブランコなどの遊具のある公園になります。

工事は、ことし秋に始められ、来年3月末までに完成する予定です。工費は、約1,650万円です。

この公園の設置計画は、7月9日に、大阪地方審議会で審議され、決定されることになっています。

▼公園になる府民センター跡地(北側部分)



●早期発見があなたの胃をガンから守ります

日本は、胃ガン王国といわれ、胃ガンは、ガン全体のうち男の人は半分、女の人は3分の1を占めています。

医学や公衆衛生の進歩で、寿命は大変伸びていますが、ガンについては、まだわからないことだらけで、特に働き盛りの50歳代ではガンで死ぬ人が一番多いのです。

胃ガンは手遅れにならないうちに悪い所を切り取ってしまう以外に方法がありません。

しかし、自分で具合が悪く感じた時は遅く、早期発見することが大切です。

幸い、近頃は技術が進歩し、ごく早く、小さい時期の胃ガンも早期発見できるようになり、こんなガンなら、手術すれば100%なおります。

胃のレントゲン検査や胃内視鏡検査(胃カメラ)をすると、胃ガンや胃かいよう、さらに、十二指腸かいよう、胃炎、胃ポリープ等があればはっきりわかります。

胃のレントゲン検査は、人間の体を通り抜けてしまうレントゲン線を胃の部分に当ててフィルムに写すものですが、バリウムというレントゲン線を全く通さない薬を飲んで胃の形を浮かべにします。バリウムは、ドロドロの白い液体で、全く害はありません。

多くの場合、これにラムネのもののようなすっぱい薬を飲んで、胃の中に空気を発生させます。これで胃が適当にふくらんで、胃の輪郭や、しわの間に入りこんだバリウムの様

子が非常に見やすくなります。

古くなったゴム風船が少し形がゆがんだりゴムの厚さが一様でなくなるように、胃に悪い所があれば、健康な形と少し変わった所ができます。また、胃のちりめんじわが乱れていたり、集まっていたり、とぎれていることもあります。胃の壁の少しのくぼみや高まりもすぐわかります。

撮影するときは、立ったり寝たり、体をいろいろ動かして、バリウムを胃の壁に塗りつ



八尾市医師会

け、病気の部分を、いろんな角度から観察するようにします。おわんのようなものでおなかを上から少し押しすと、高まりやくぼみが、一層はっきりします。

レントゲン線の体に及ぼす影響が問題になっていますが、普通の状態では、まず大丈夫です。もちろん妊娠している場合、ことに、3、4カ月までは胎児への影響を考慮して控えるべきですが、婦人では妊娠の可能性の最も

少ない、月経が始まってから、10日以内の間に検査するのが安全です。

胃内視鏡検査は、のどを痛くないように麻酔して、細い数多くのガラス繊維を仕組んだ管を胃に入れ、その先のレンズを通して胃の中を直接観察してカラー写真を撮ります。

レントゲン検査でわからなかった事を発見したり、色の変化で胃の病気をくわしく見つけることができます。だいたい5分前後で終わり、すんでしまうと、思っていたほど苦しくなかったという人が多いです。

さらに、ごく早い時期の胃ガンや、非常にまぎらわしい時には、内視鏡で直接見ながらその場所を少しかきとって、ガンの組織を証明する「胃生検」や、胃の壁からはがれ落ちた細胞を集めて、顕微鏡でガン細胞自身を見つける細胞診もあります。

日本に胃の病気が、ことに胃ガンが多いという事情と、日本人の器用さから、これらの機械を使って胃の病気を診断する力は、世界中でも一番優れています。

また、日本独特のものとして、胃の集団検査も普及しています。八尾市でも実施しているため、年1回くらいは受診することをおすすめします(第1面参照)。

しかし、非常に発見しにくい場所にあることもあるので、定期的に検査を受けるとかおかしければ、くわしい検査を受けてください。



ねたきり老人見舞金支給
☎91-3881 内線279

ねたきり老人に見舞金が支給されます。該当する方は忘れず申請してください。

☆受けられる人 9月15日現在65歳以上で次の①-③すべてに該当する人

①傷病(老衰を含む)で1年以上常時ねたきりの人

②ひとりで歩くことができず、活動範囲が屋内に限られている人

③昨年9月16日から引き続き府内に住み、住民基本台帳に記載されている人

☆支給 9月に8,000円(年額)

☆申請 7月31日までに社会福祉会館内社会課、または近くの民生児童委員さんまで。用紙は上記のほかに出張所窓口にもあります。



海洋博入場特別割引
☎91-3881 内線277

沖縄国際海洋博協会では、身体障害者等の方を対象に特別割引入場券「優待」を発売しています。

☆料金 1人1回限り400円

☆発売期間 7月1日-51年1月18日

☆対象 身体障害者、戦傷病者、被爆者およびこれらに準ずる外国人(協会が介護者を必要と認めた場合、その介護者1人についても「優待」料金で入場可)



戦没者の遺族の方に
☎91-3881 内線279

戦没者の遺族の方で、妻、父母に対する特別給付金国債の担保貸付がはじまりましたので、事業資金として必要な方は社会福祉会館内社会課へ申し出てください。くわしくは、同課まで。



筋ジストロフィー検診
☎91-3881 内線277

在宅の筋ジストロフィー児(者)を対象に無料巡回検診が行われます。

＜一般検診日程＞

6月28日 寝屋川保健所 7月12日 岸和田児童相談所 9月20日 富田林児童相談所

10月18日 東大阪児童相談所 11月25日・51年1月20日・3月16日 国立療養所刀根山病院

時間はいずれも午後0時30分-4時30分

＜訪問検診＞

一般検診に参加困難な方を対象に個別に随時、訪問検診を行います。ご希望の方はハガキに連絡先を明記し、〒532大阪府淀川区新高5-16-14、社団法人日本筋ジストロフィー協会大阪支部(☎392-9737)まで。

＜その他＞

刀根山病院(豊中市刀根山5-1 ☎853-2001)では、毎週火曜日午後1時-3時の間、検診を行っていますので、あらかじめ連絡すれば受けることができます。

花火遊びにご注意!

花火遊びのシーズンです。ちょっとした不注意で火事になったり、ケガをする危険があります。次のことに気をつけましょう。

☆子どもには必ず大人がついてあげよう。

☆風の強いときはやめよう。

☆花火をほぐさない。

☆たくさん花火に一度に火をつけない。

☆途中で火が消えてもどき込まない
☆水バケツなどの消火準備も忘れずに



国保海の家を開きます

☎91-3881 内線353

今年も国民健康保険加入者に憩いのひとときをすごしてもらうため、大阪市との行政協定により行っている「国保1日海の家」を三重県二見町池の浦海水浴場で開きます。

☆期間 8月9日(土)～13日(水) (日曜日は除く)

☆利用券の発売 7月24日から保険課で発売しますので、国民健康保険証を持参のうえ、午後3時30分までに申し込んでください。定員になりしだい締め切ります。

☆料金 大人(中学生以上) 1,000円
小人(小学生以下) 500円

往復とも近鉄ピスターカー(あおぞら号座席指定)で近鉄八尾駅から乗車します。



計量器定期検査

☎91-3881 内線323

営業用の計量器の定期検査を次の日程で行いますので、忘れずお受けください。

＜日程＞

7月17日(木)・18日(金)○労働会館(山本町) 21日(月)○竹濶小 22日(火)○久宝寺中 23日(水)○安中小 24日(木)△曙川小 ●新町市場 25日(金)○労働会館分館(道松町) 28日(月)△中高安小 ●大正幼 29日(火)○南高安小 30日(水)○志紀小 31日(木)・8月1日(金)○教育センター

時間は、○印が午前10時30分～午後0時30分、午後1時30分～3時30分、△印が午前10時30分～午後0時30分、●印は午後1時30分～3時30分。



納税移動窓口車が巡回

☎91-3881 内線262

固定資産税第2期分の納期限は今日25日です。今回も次の日程で納税移動窓口車が各地区をまわりますのでご利用ください。

＜日程＞

7月21日(月)○近鉄久宝寺口駅前 △山本中央市場横 22日(火)○波川神社前 △高安市場

時間は、○印が午前10時～正午、△印が午後2時～4時です。

※納税は便利な口座振替をご利用ください
申し込みは、預金通帳、通帳に使用している印かん、納税通知書をもって、郵便局を除く市内の金融機関まで。



地下道通行止め

☎91-3881 内線329

歩道設置工事のため国鉄久宝寺地下道(府道八尾住吉線)を次のとおり通行規制します

☆とき 7月中旬から約2か月間

☆規制対象 自動車、自動2輪車、原付自転車は通行止め(歩行者、自転車は可)

なお、歩道完成後車両は南行き一方通行になります。

＜人の動き＞

(50年5月末現在)

総数	251,113 (+664)
男	125,886 (+378)
女	125,227 (+286)
世帯数	77,233 (+357)

()内は前月からの増減です。

文学教室を開いています

☎23-4115

労働会館分館では、恒例の文学教室を開いていますので多数ご参加ください。

☆とき 11月14日までの毎週木曜日 午後6時～8時

☆資格 16歳以上の市内在勤者

☆申し込み 印鑑持参のうえ同分館まで

☆講師と日程 7月10日「詩と社会」港野喜代子氏(詩人) 17日「作家と戦争体験」千頭剛氏(文芸評論家) 24日「丹羽文雄論」中野恵海氏(相愛女子短大助教授) 31日「第8期文学教室 作品集の研究」金時鐘氏(作家) 8月7日 法橋和彦氏(大阪外大助教授) 14日「花田清輝を語る」小野十三郎氏(詩人) 21日「織田作之助論」杉山平一氏(手塚山短大教授) その他、犬養孝氏(大阪大名堂教授)、藤本義一氏(作家)などを予定。

簿記入門講座

☎22-1181

産業課と商工会議所では、簿記入門講座を次のとおり開きます。

☆とき 7月15日～17日 午後6時～8時

☆ところ 商工会議所

☆受講料 無料

☆定員 50名(先着順)

申し込みは、産業課(☎91-3881 内線323)または商工会議所(☎22-1181)業務課まで。

歯科医療の苦情相談

☎91-3881 内線354

このほど大阪府歯科医療懇談会が設置された市でも次のとおり苦情相談窓口を設置しました。

☆とき 7月1日～9月30日まで

☆ところ 保険課

手話を習いませんか

☎91-3881 内線303

八尾市身体障害者福祉会では、次のとおり手話(しゅわ)教室を開いています。

☆とき 12月19日までの毎週金曜日 午後6時～8時30分

☆ところ 社会福祉会館2階

☆費用 無料(ただし、教科書代実費負担)

☆申し込み 7月中に社会福祉会館内福祉事務所種渡(☎91-3881 内線277)まで

●こどもの水死事故をなくそう

府下では、昨年59名、今年も5月までにすでに16名のこどもが水死しています。

水による痛ましい犠牲者をなくすため、八尾警察署と防犯協議会では、7月～8月に水死事故防止運動を実施し、市民のみなさんに協力を呼びかけています。

★愛の一声運動の推進を！

危険な場所で水遊びをしているこどもを見たら、「危いよ！」と注意しよう。

★あたたかい監視の目を！

こどもの水遊び、水泳には必ず大人が同行しよう。



行事あんない 7/11～7/25

相談ごと

＜身体障害者＞ 11日(金)18日(金) 25日(金) 13時～16時 社会福祉会館

＜心配ごと＞ 14日(月)20日(日) 21日(月) 13時～16時 社会福祉会館

＜結婚＞ 20日(日)23日(水) 13時～16時 社会福祉会館

＜家庭児童＞ 11日(金)14日(月) 16日(水)18日(金)21日(月) 23日(水)25日(金) 10時～16時 社会福祉会館

＜青少年愛護＞ 12日(土)15日(火) 17日(木)19日(土)22日(火) 24日(木) 9時～17時 教育センター

＜法律＞ 14日(月)17日(木) 24日(木) (当日0時45分受付) 13時～16時 市民相談室

＜教育＞ 11日(金)14日(月) 16日(水)18日(金)21日(月) 23日(水)25日(金) 9時～ センター

＜中小企業融資＞ 11日(金)15日(火) 18日(金)22日(火)25日(金) 10時～12時 産業課

＜高齢者職業＞ 17日(木) 10時～15時 社会福祉会館

＜老人健康＞ 22日(火) 10時30分～12時 社会福祉会館

＜行政＞ 18日(金) 委員宅

＜人権＞ 16日(水) 14時～16時 人権擁護委員会室

献血

＜出張献血＞ 15日(火) 10時～15時 市立病院

保健所

＜不用犬の受付＞ 11日(金)14日(月) 16日(水)18日(金)21日(月) 23日(水)25日(金) 9時30分～12時、13時～16時

＜肢体不自由児相談＞ 14日(月) 13時～14時

＜高血圧検診＞ 15日(火)22日(火) 13時30分～14時30分

＜幼児歯科相談＞ 16日(水)23日(水) (フッソ塗布) 9時15分～11時、13時～14時30分

＜子宮ガン検診＞ 16日(水)23日(水) (電話予約制) 13時～14時

＜未熟児相談＞ 17日(木) 13時～14時

＜乳幼児健康相談＞ 11日(金)＝3カ月の乳児 18日(金)＝6カ月の乳児 25日(金)＝1年6カ月の幼児 9時15分～11時

＜3歳児検診＞ 11日(金)＝47年1月 生まれの男児 18日(金)＝47年1月 生まれの女児 13時～14時30分

＜ツベルクリン反応＞ 21日(月) 14時～15時30分

＜BCG接種＞ 23日(水) 14時～15時30分

＜離乳食講習会＞ 21日(月) 13時～

スポーツ教室

＜婦人スポーツ教室＞ 17日(木)＝卓球 24日(木)＝卓球 13時30分～16時 教育センター

＜一般スポーツ教室＞ 17日(木)＝卓球 24日(木)＝卓球 17時30分～21時 教育センター

＜母と子の体操教室＞ 11日(金) 18日(金)25日(金) 14時～15時30分 教育センター

◎文化講座生追加募集

労働会館分館で開いている文化講座の茶道Cクラス(表千家、勤労者向け)に若干名余裕がありますので、ご希望の方は至急申し込んでください。

なお、茶道Cクラスは火曜日(月3回)午後6時～9時に行っています。お問い合わせは植松町5丁目の同分館(☎23-4115)まで。

◎民謡講習会

体育振興課では、河内音頭などの民謡講習会を次のとおり開きます。

☆とき 7月13日、20日、27日、8月4日、11日の午後6時～8時

☆ところ 教育センター内体育館

☆参加資格 市民ならどなたでも

なお、講習会はずべて当日受付です。くわしくは体育振興課(☎91-3881 内線485)まで。

◎親子まつり

八尾親子まつり実行委員会では、親と子に楽しい一日を過ごしてもらうため、第1回八尾親子まつりを開催します。

☆とき 7月13日(日) 午後1時～4時30分

☆ところ 市民ホール

くわしくは同実行委員会(☎92-0596)まで。

◎近大無料法律相談

近大法律相談部では、次のとおり無料法律相談を受け付けます。

☆とき 7月13日(日) 午前11時～午後3時

☆ところ 用和小学校公民館

◎キャンプテント貸します

体育振興課では、次のとおりキャンプテントの貸し出しを行っています。

☆貸出期間 9月末まで

☆対象 市内に在住または勤務する青少年

☆使用料 無料

その他くわしくは教育センター内同課(☎91-3881 内線485)まで。

◎使用料値下げ

財団法人八尾体育会館(栄町1丁目)では昨年9月より柔道、剣道、空手道、弓道(大人)などのスポーツ教室を開いていますが、専用使用料は半額に、個人使用料も次のとおり値下げになりました

☆小、中学生 月600円→月200円

☆高校生 月1,200円→月400円

☆一般 月2,400円→月600円

くわしくは同会館(☎94-2388・2389)まで。





やお市政だより

4

●僕たちのイモだよ

刑部小学校の4、5、6年生が先月19日と20日に、学校近くの畑でジャガイモ掘りをしました。

このジャガイモは、農家の好意で借りた10aの畑に、ことし2月に児童が植えて育てたものです。

ジャガイモ畑は、あいにく田植えどきの隣の田んぼからあふれた水で水びたしになっていましたが子供たちは、長グツをはいたり、ズボンまくって畑に入り、茎を引っっこ抜いて、泥だらけのイモを引きあげました。

大きなジャガイモが見つかるたびに、方々で大きな歓声があがっていました。水が入ったため一部のイモは腐っていましたが、約200gの収穫があり、学校でカレーライスなどに利用しました。

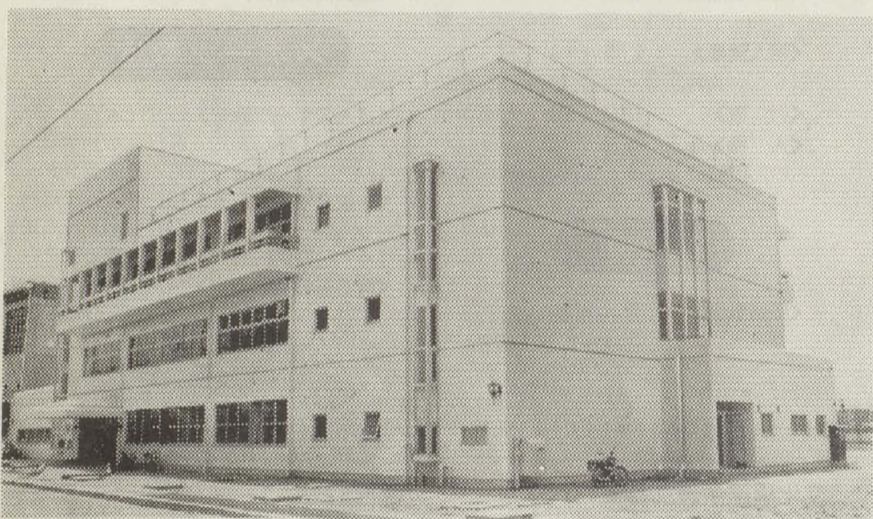


●本庁玄関に案内窓口を開設

市では、市民サービスの向上を図るため、先月26日本庁玄関前に案内窓口を設け業務を始めました。

これは、いままで市民相談室で取り扱って

いた案内業務を独立させたもので、庁内案内や、市内の施設案内などを専門に担当するものです。窓口は午前9時から午後5時まで開き、スムーズで親切な案内をと、がんばっています。



●桂青少年会館完成

市が同和対策事業の一環として桂町3丁目に建設していた市立桂青少年会館が完成し、先月23日午後開館式が行われました。

同館は鉄筋コンクリート3階建て（一部平

屋）、延べ2,938㎡で小・中・高校生の学習室や集会室兼視聴覚室、図書室のほか珠算、絵画、習字用のグループ室などを備えています。式には、学校から帰った子どもたち約400名が参加、会館の完成を祝い合いました。



●障害児スポーツ大会開かれる

先月21日、柴町2丁目の八尾体育会館で、市内の障害児を持つ親の会や市教委などで結成している八尾市障害児問題協議会主催の障害児スポーツ大会が行われ約40名がお母さんとともに参加しました。また、市からも体育指導員10名が応援参加し、競技の指導にあたりました。

大会は参加者全員が輪になってピンポンパン体操で開会し、親子リレーやボールけり競争などに一杯の競技を行いました。また、競技の間の風船割りやフォークダンス、歌とおやつなど楽しいプログラムに子供たちは大喜び。

同協議会では、昨年4月にも久宝寺緑地でスポーツ大会を開いており、今回が2回目。

前回まで同和教育月間行事「私のわが家」から、中・高校生の人権作文を紹介し、同和教育について共に学習してまいりましたが、最後に一般の部から作文を紹介したいと思います。（なお、紙面の都合により2回に分けて掲載します）

「歩みの透き間から」-市内の女性より-
誰かさんは、持って生まれた運命だという。何事もこの一言で片付けてしまうのです。悲しい、辛いなどは特に「運命だと思ってあきらめなさいよ」の一言で終わりである。相談にのってもらえたのやら、わずらわしいと思われたのやらとわからない。当のその人にしたなら、なぐさめの言葉として言ったのかも知れないが、私の心は真暗闇に落ち込んでいく。落ち込むにもわけがある。それまでに、無知な私が知る限りのことで努力してきた時の相手からの言葉が思い出されるから。

思い出せば限りない。堺で国民保険に加入したら、前年度の税金を基準にして保険金を徴収してきた。私は驚いた、会社の組合保険の掛金より多額なのだから。一文なしで収入もない者にどうして払えようかと思った。減免申請して額面は減ったがやはり払えない。住民税も残っているし、生活する収入もない

のに。

「もっと安くしてください」
「これで随分安くなりました。お宅はもう使ってはりますねん」との言葉、「払えませぬん」押し問答をくり返すうちにあきらめた。集金に来たら一部金をわたして帰ってもらう。市役所から呼び出しがくる。行くと「ひとり1日牛乳1本しまつて払ってくれたらええんや」。私は疲れを感じる。家では特価品1袋15円のインスタントラーメンを3人で取り合ひして食べることもある。牛乳などたまには飲んでみたいそんな気持ちだった。いくら話しても理解してもらえない。保険加入したために死にたいと思ったこと何度か、そんな思い出がある。

今、私が働いている仲まに話をしてみたら「貯金をしておかないからや」と、これも簡単に片付けられてしまった。私は思う。幸せな人には経験せねばわからないのだ。本当にそう思ったのでさういって、「私やったらそ

んなアホなことにならんわ」。今度はばかにされた。悲しい、悔しい、腹が立つ、何もかも投げ出したくなる。これも人生か、アア……。

今、この幸せな人に終戦直後の苦しかったことを話したら、またこれ全然通じない。

「その頃私の家では、水飴を作ってたね、防空ごうに入る時ほったらかしていくんよ。帰ってきたら、鍋からこぼれてて今思ったらもったいないことやね」となつかしそうに言う。「私は、大阪の町ん中に住んでたから食べ物なくて困ったわ」と言う、「貯えておかないからさうなるのよ」、アア……こんな人がおるから……。もういい、話はしないほうがよい。

私の祖母は一生困らないだけの財産があったと聞く。なんでも、終戦の時に家を焼かれ土地は取り上げられ裸になったさうな。かわいさうなおばあちゃん、母もおかげで一生苦労している。

この人もかわいさうだよなあ、新婚数カ月で夫は戦に出てしまい、おなかに私が残ったのだから。父は私と対面することなくビルマで戦死。そして終戦を迎えて無一文になり病む母と赤ん坊を連れての生活、これ以上考えたくない、辛いから……。

私の友達はいった。
「台湾に住んでたんよ、父はカン詰め工場を経営していてね家もすごく大きかったん。けれど終戦と同時に兄は学校からの帰り、頭や身体じゅうに石をぶつけられて帰ってきてね家には火を投げられて焼き払われ逃げのの大変だったのよ。日本人って向こうの人には相当悪いことしてたんやって、だからそんな目にあったんや……。引きあげの時ね、船の中で乳のみ児がたくさんいて皆んな泣いているんや、食べるものがなくてね。お乳でないもんやから赤ちゃん海にするんよ、母が見せまいと私を捕えてはなさなかつたわ」。

この彼女、日本が好きであると同時に嫌いでもある。心の中で革命を叫んで今日もどこかの空の下で元気いっぱい生きていることだろう。

—次号につづく—

しあわせを築く道

部落解放をめざして—②⑤